

# 2026-2027 年度 海外派遣留学生 募集要項

## 《選考スケジュール》

A 日程： ドイツ語派遣、韓国語派遣、英語派遣（ドイツ、韓国、南アフリカ共和国、チリ、ペルー、タイ（マハサラカム大学）1年間のみ（※マハサラカム大学の半年間留学はB日程で募集しますが、A日程での募集を優先します。））

B 日程： 英語派遣、フランス語派遣、イタリア語派遣、ドイツ語派遣、スペイン語派遣、中国語派遣、韓国語派遣 ※A日程で募集する派遣先大学は、A日程で派遣枠を満たした場合は募集を行いません。

	A 日程	B 日程
募集説明会	2025年7月8日(火)	2025年10月8日(水)
留学フェア	2025年7月9日(水)・10日(木)	2025年10月8日(水)
申請期間 (※期限厳守)	2025年7月11日(金)～ 9月29日(月) 17:20まで	2025年11月25日(火)～ 12月22日(月) 17:20まで
学内選考 合格発表	2025年10月28日(火) 13時 メール	2026年1月28日(水) 13時 メール
派遣先大学からの 審査結果通知(※)	2025年11月～12月頃	2026年4月～6月頃

※ 学内選考後、派遣留学生は留学が決定した大学に出願書類を提出し、留学先大学での審査（書面審査）を受けることになります。

## 《目次》

I. 海外派遣留学生制度の概要	1
II. 応募資格	1
III. 派遣先大学一覧	3
IV. 申請方法および申請時の注意	6
V. 学内選考判定および合格発表	7
VI. 補欠者への再募集	8
VII. 授業料の免除・奨学金	9
VIII. 留学にかかる費用	10
IX. 学部・研究科間協定による派遣留学	10
X. 派遣留学決定後について	11
XI. 留学期間	12
XII. 履修	12
XIII. 留意事項	14
XIV. 語学力換算表および外国語科目の認定	14

## I. 海外派遣留学生制度の概要

---

本制度は、海外派遣留学生選考試験に合格して、本学の協定校に交換留学生として半年間または 1 年間派遣される制度です。この制度を利用して留学することで、派遣先大学の授業料の免除、本学における履修や単位換算等の教務上の配慮がある他、留学期間も在学期間として取り扱われるため、2、3 年次に留学をすれば 4 年間で卒業することが可能ですが（ただし、単位修得状況により、4 年間で卒業できない場合もあります。）本学から外国の大学に留学する学生の取り扱いについては、「[外国の大学に留学する学生の取り扱いに関する内規](#)」に定められていますので、一読しておいてください。

## II. 応募資格

---

応募時点（A 日程：9 月 29 日、B 日程：12 月 22 日）で、以下の 1～3 の要件をすべて満たしている者

### 1. 区分

学部生、大学院生であること

- ・学部生は、「III. 派遣先大学一覧」(pp.3~5)中のすべての大学に応募できます。
- ・大学院生は、「III. 派遣先大学一覧」(pp.3~5)中の大学名に (\*) がついた大学に応募できます。

＜応募資格のない者＞

※ 以下の条件に当てはまる場合は、語学力要件や在学成績要件を満たしても応募できません。

- 帰国時に、学則第 18 条第 3 項に該当する者（在籍期間が 8 年を超える者）
- オリエンテーション期間に休学する者（A 日程：2025 年度後期、B 日程：2026 年度前期）  
※派遣留学期間中に本学を休学することはできません。
- 募集年度の前期終了時点で、在学成績の GPA が算出できない者。
- 本学学部の在籍時に海外派遣留学生制度を利用したことがある大学院生  
(ただし、派遣候補者がいない場合は、選考対象となる可能性があるため、事前に国際センターに相談すること)
- 募集年度に本学を卒業する者。ただし、本学大学院への進学予定者を除く。

※ 学部 4 年次に海外派遣留学生選考に応募し合格決定後、本学大学院へ進学し、大学院生として派遣留学することが可能です。また、早期卒業予定者で本学大学院に進学予定の学生も、大学院生として派遣留学することができます（ただし A 日程（1 年間・半年間（前期））は除く）。希望者は、必ず事前に大学院事務室および国際センターに相談してください。なお、大学院在籍中に留学する場合は、以下の点に留意してください。

- ・ 派遣先大学では大学院レベルの科目を履修し、単位修得に努めること。
- ・ 所属研究科の専門分野に関連する学びを深めること。

### 2. 語学力

以下のいずれかの方法で、希望する派遣先大学の語学力要件を満たしていること。

- （全派遣言語共通）語学力試験のスコアもしくは合格証書を提出する。

※留学開始予定日から遡って 2 年以内に受験した語学試験スコアが有効  
(A 日程：2024 年 3 月以降 / B 日程\*：2024 年 9 月以降)

\* 2024 年 2 月～8 月に受験した語学力試験のスコアを所持している場合は、国際センターにご相談ください。

## ■ (英語派遣 (学部・研究科間協定含む) 以外の指定の派遣先大学)

該当言語の (本学の) 授業を履修し、一定以上の成績を取得していること。

※2025 年度前期完結科目が対象。

(2024 年度までに修得した科目および 2025 年度通年・後期完結科目は対象外)。

※認定基準および対象の派遣先大学は、[国際センター学内HP](#)に掲載の「応募要件一覧」を参照。

※選考に使用する語学力換算表は本要項内「XIV. 語学力換算表および外国語科目の認定」を参照。

※応募時に「外国語科目の語学力要件認定証明書」の提出が必要です。詳細は p.7 を確認してください。

- 派遣先大学の語学力要件は、[国際センター学内HP](#)に掲載の「応募要件一覧」で確認すること。

(A 日程: 7 月中旬、B 日程: 11 月末までに最新の内容を掲載予定)

- 希望する派遣先大学の語学力要件を満たさない限り、その大学には応募できません。

### 【補足 : 英語派遣について】

- 「学部・大学院課程」への語学力要件を満たしていない場合、半年間留学に限り、「語学教育機関」への語学習得を目的とする派遣留学に応募できます。ただし、選考 (p.7) および奨学金の申請 (p.9) にあたって留意点がありますので、必ず事前に確認してください。
- 外国語学部、文学部英文学科・文学部外国語学科英語専攻の学生が、英語派遣に応募する場合は、以下のいずれかのスコアが必要です。

(アメリカの協定校の (学部・大学院課程) への応募時)

TOEFL-ITP 520 点、TOEFL-iBT 68、IELTS 5.5 または英検準一級以上

(アメリカ以外の協定校およびアメリカの協定校の「語学教育機関」への応募時)

各協定校が求める語学力を満たしていれば応募可能

### ●語学力に関する注意●

各派遣先大学の語学力要件は、選考応募時点での最低条件であり、派遣先大学のレベルではないこと、学部・大学院課程の授業内容を理解できるレベルとは限らないことを十分理解してください。近年、海外派遣留学した学生の中で、語学力の不足により派遣先大学の授業についていけないケースが増えています。英語派遣の場合、授業についていくには一般的に TOEFL-ITP 550 点以上が必要です。海外派遣留学生に決定してから出発までの間に、英語派遣であれば TOEFL-ITP 550 点相当の語学力、その他の言語においてもさらに高い語学力をを目指す必要があります。

## 3. 在学成績

在学成績の GPA が 2.0 以上 (卒業要件に算入しない科目の単位は除く)

- GPA は、在学期間すべての成績を用いて算出します(通算 GPA)。

- 派遣先大学によっては、本学の在学成績要件 (GPA2.0) 以上の GPA が求められる大学があり、その場合は派遣先大学の GPA 要件を満たさない限り、その大学に応募することはできません。

ただし、GPA 要件が「推奨」要件の場合は、当該 GPA を下回っていても、0.2 の範囲までであれば、その大学に応募することができます。

例) 推奨 GPA が 3.00 の場合、応募時点の GPA が 2.80 の学生まで応募が可能

- 海外派遣留学生選考試験合格後、派遣先大学への出願を行いますが、出願時点の通算 GPAが本学の在学成績要件 (GPA2.0) や派遣先大学の GPA 要件を満たさない場合、その大学に応募できない場合や入学許可が下りない場合があります。

<参考：2年次に、3年次夏からの派遣留学（B日程）に応募する場合>

1年次	2年次	3年次	4年次
		選考に使用する GPA (1年次～2年次前期まで)	
		派遣先大学への出願に使用する GPA (1年次～2年次後期まで)	

### GPA (Grade Point Average) 計算方法

- ・2020年度以降入学者

$$\frac{4.0 \times S \text{修得単位数} + 3.0 \times A \text{修得単位数} + 2.0 \times B \text{修得単位数} + 1.0 \times C \text{修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (D・Xの単位数を含む)}}$$

※2019年度以前の入学者は、総履修登録単位数にD・E・Xの単位数を含む。

## III. 派遣先大学一覧

派遣先大学の情報は、[国際センターの学内HP](#)で確認できます。

■ 派遣先大学詳細情報（大学の概要、学部・学科情報、履修・シラバス、学年暦、寮など）

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>[「留学情報」](#)>「留学報告書」

■ 派遣枠および応募要件

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>[「海外派遣留学」](#)

>「応募要件の見方」・「応募要件一覧」(A日程：7月中旬、B日程：11月末までに順次掲載予定)。

(\*) 大学院生も応募することができます。

※派遣先大学との協議の結果、派遣枠が0（ゼロ）になる派遣先もあります。

### 英語派遣

国・地域	協定校名	
アメリカ	ニューヨーク州立大学オネオンタ校	ファーマン大学
	ペイラー大学	サムフォード大学
	ロード・アイランド大学	ベルモント大学
	ワシタ・バプテスト大学	カーソン・ニューマン大学
	オクラホマ・バプテスト大学	ミネソタ州立大学マンケート校
	マーサー大学	スリッパリー・ロック大学
	セント・クラウド州立大学	マーシー大学
	デラウェア大学	サザン・ニューハンプシャー大学
	ノース・カロライナ大学グリーンズボロ校	ノース・アラバマ大学
	ハワイ大学ヒロ校	キャンベル大学
	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校	ノース・ジョージア大学
	ニューメキシコ州立大学	ピツツバーグ大学ジョンズタウン校
	ミドル・テネシー州立大学	サウスイースト・ミズーリ州立大学
	ユタ州立大学	

国・地域	協定校名	
カナダ	マクマスター大学	コンコルディア大学
	プリンス・エドワード・アイランド大学	ロイヤル・ロード大学
イギリス	セントラル・ランカシャー大学	キール大学
	ヨーク・セントジョン大学	デ・モンフォート大学
ノルウェー	ノード大学	
フィンランド	ユバスキュラ応用科学大学	東フィンランド大学
イタリア	トリノ大学	ベルガモ大学
オランダ	アムステルダム応用科学大学	ウィンデスハイム応用科学大学
デンマーク	コペンハーゲン大学(*)	
ハンガリー	エトヴェシュ・ロランド大学	
ドイツ	ケルン大学	デュースブルク・エッセン大学
	フェヒタ大学	
チェコ	マサリク大学	
アイスランド	アイスランド大学	
ポーランド	ワルシャワ経済大学	ワルシャワ大学
ベルギー	ルーヴェン・リンブルグ応用科学大学	
スペイン	ムルシア・カトリック大学	
ロシア	サンクトペテルブルク工科大学	
ルーマニア	ルーマニア・アメリカン大学	
マルタ	マルタ・アメリカン大学	
フランス	ISG ビジネススクール(*)	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校
	パリ・カトリック大学	
クロアチア	ユライ・ドブリラ大学プーラ	
中国(香港)	香港バプテスト大学	香港恒生大学
台湾	東吳大学	輔仁大学
	東海大学	国立東華大学
	文藻外語大学	
韓国	梨花女子大学(*)	崇実大学
	高麗大学(*)	徳成女子大学
	釜慶大学	世宗大学
マレーシア	マラヤ大学	
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	
タイ	マハサラカム大学	カセサート大学
インドネシア	ビーナス大学	
シンガポール	シンガポール社会科学大学	
ベトナム	ハノイ貿易大学	
インド	チトカラ大学	
南アフリカ共和国	ヨハネスブルグ大学	
モロッコ	ラバト国際大学	

国・地域	協定校名
チリ	ビニヤ・デル・マール大学
ペルー	サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学
トルコ	イスタンブール・アイディン大学
オマーン	スルタン・カブース大学

#### フランス語派遣

国・地域	協定校名	
フランス	グルノーブル・アルプ大学	エクス＝マルセイユ大学
	ボルドー・モンテニュ大学	マリー＆ルイ・パスツール大学(*)
	アンジェ・カトリック大学(*)	トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校
	パリ・カトリック大学	
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学(*)	ブリュッセル自由大学
カナダ	モントリオール大学(*)	

#### イタリア語派遣

国・地域	協定校名	
イタリア	トリノ大学	シェナ外国人大学
	ペルガモ大学	

#### ドイツ語派遣

国・地域	協定校名	
ドイツ	ケルン大学	デュースブルク・エッセン大学
	フェヒタ大学	

#### スペイン語派遣

国・地域	協定校名	
スペイン	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	ムルシア・カトリック大学

#### 中国語派遣

国・地域	協定校名	
中国	吉林大学	華東師範大学(*)
台湾	東吳大学	東海大学
	輔仁大学	国立東華大学
	文藻外語大学	

#### 韓国語派遣

国・地域	協定校名	
韓国	慶星大学	誠信女子大学(*)
	梨花女子大学(*)	崇実大学
	高麗大学(*)	德成女子大学
	釜慶大学	世宗大学

## IV. 申請方法および申請時の注意

### I. 申請書類

申請書類	①派遣留学計画書(次項目参照) ②語学力試験のスコアもしくは合格証書のコピー/外国語科目の語学力要件認定証明書
申請期間 <b>※期限厳守</b>	A 日程：2025年7月11日(金)～9月29日(月)17:20まで B 日程：2025年11月25日(火)～12月22日(月)17:20まで
提出先	<b>【国際センター学内HP】</b> 以下のサイトにアクセスし、オンライン登録フォームと申請書類を提出してください。 SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>「 <a href="#">派遣留学応募</a> 」 ※フォームは申請期間に公開します。

**・申請期間終了後は、派遣先大学(プログラム)および留学期間の変更は一切できません。**

・対象となる語学力試験および申請方法の詳細については、以下のサイトを参照してください。

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>[「派遣留学応募」](#)

#### I. ①派遣留学計画書について

内容：① 志望理由および ② (語学力の向上以外で) 留学先大学で深めたい知識・分野について、それぞれ A4用紙1枚（計2000字程度）にまとめること。それぞれ文書に、「志望理由」または「留学先大学で深めたい知識・分野」と標題を記載し、その右下に在学番号および氏名を明記すること（①と②を同一ファイルで作成し、国際センター学内HPの「申請書類提出先」にアップロードすること）。

様式：A4サイズ2枚、書式は任意

#### 2. 語学力試験のスコアもしくは合格証書のコピーの提出について

**【A日程：英語派遣（学部・研究科間協定含む）】**

9月分のTOEFL-ITP試験を受験した場合は、以下のとおり申請してください。

1. 当初の期限までに登録フォームから申請し、①派遣留学計画書を提出する。

以下の方法で、②語学力試験のスコアのスクリーンショットを提出する。

SAINS ポータル「SAINS ポートフォリオ」>「課外活動」>「資格・試験」

※9月の第4週目以降に、ポートフォリオからスコアを確認できる見込みです。

2. 2025年10月8日（水）17:20までに、学内HPの「【後日提出用】語学力試験のスコア、もしくは合格証書の原本」に当該書類を提出する。

※9月分のTOEFL-ITP以外の語学力試験を提出する場合は、当初の期限（9月29日(月)17:20）までに必ず全ての書類を提出してください。

**【B日程：英語派遣（学部・研究科間協定含む）以外】**

語学力試験のスコアもしくは合格証書のコピーが申請期限に間に合わない場合は、2026年1月8日(木)17:20までに当該書類を提出できることを条件に応募を受け付けますので、以下のとおり申請してください。

1. 当初の期限までに登録フォームから申請し、①派遣留学計画書を提出する。

2. 2026年1月8日（木）17:20までに、学内HPの「【後日提出用】語学力試験のスコア、もしくは合格証書の原本」に当該書類を提出する。

【本学の外国語科目を履修し、一定以上の成績を取得することで語学力要件を満たす場合】  
言語教育センター発行の証明書を取得し、メールで受け取った証明書を提出してください。

### 3. 外国語科目的語学力要件認定証明書について

該当言語の（本学の）授業を履修し、一定以上の成績を取得した場合、国際センターの学内 HP の「外国語科目的語学力要件認定証明書 発行申請フォーム」を提出してください。

受け取った「外国語科目的語学力要件認定証明書」を国際センター学内 HP の「申請書類提出先」から提出してください。

<「外国語科目的語学力要件認定証明書」申請期日>

(A 日程) 2025 年 9 月 22 日 (月) 17:20 (B 日程) 2025 年 12 月 16 日 (火) 17:20

### 4. 併願について

選考には、1. 英語派遣、2. フランス語派遣、3. イタリア語派遣、4. ドイツ語派遣、5. スペイン語派遣、6. 中国語派遣、7. 韓国語派遣の 7 区分があり、いくつ併願しても構いません。

また、学部・研究科間協定による派遣留学との併願も可能です。申込フォームの「併願欄」に希望順位を記入してください。

### 5. 複数回応募について

#### ■ 同一年度内での複数回応募

A 日程で海外派遣留学生選考に合格した場合、B 日程に応募することはできません。

A 日程に応募したが不合格だった場合は、B 日程に応募することができます。

#### ■ 異なる年度での複数回応募

過年度に海外派遣留学制度を使って半年間（1 学期間）派遣された学生は、異なる年度であれば、再度半年間（1 学期間）の派遣留学に応募することができます。

なお、過年度に 1 年間（2 学期間）派遣された学生は、再度応募することはできません。

## V. 学内選考判定および合格発表

---

次の①～③をもとに順位付けをし、順位が高い順に合格者を決定します。派遣先大学は、順位の高い合格者の希望が優先されます。なお、合格発表はメールにて行います。

① 在学成績 (GPA) (※通算 GPA を使用する)

② 語学力成績 (※語学力換算表(pp.15～18 に基づき、点数化した値を判定に使用する)

③ 派遣留学計画書

※ 英語派遣において、「学部・大学院課程」と「語学教育機関」で同一の派遣先大学を希望する学生が複数いる場合には、「学部・大学院課程」への応募者を優先して選考します。

※ 学内選考を通過した派遣留学生は、留学が決定した大学に出願書類を提出し、派遣先大学での審査（書面審査）を受けることになります。

## VI. 補欠者への再募集

学内選考の合格発表後、募集定員を満たしていない派遣先大学がある場合、語学力要件を満たす補欠者を対象に再募集を行います。

### 【A日程】

補欠者への再募集の案内：2025年10月28日(火)～11月4日(火) 17:20まで

再応募者の合格発表：2025年11月7日(金) 13時 メール

### 【B日程】

補欠者への再募集の案内：2026年1月28日(水)～2月4日(水) 17:20まで

再応募者の合格発表：2026年2月6日(金) 13時 メール

### (参考) 認定留学制度について

認定留学とは、事前に国際センターに申請し、所属学部の承認を得ることで、4年制大学の学部正規課程や大学の語学教育機関への私費留学であっても、留学期間が在学期間として取り扱われ、留学先大学で修得した単位を本学の単位に換算することができる制度です。年に2回、認定留学生を募集していますので、4月および9月にSAINSポータルのお知らせを確認してください。

	<b>留学先の選択</b>		<b>奨学金</b>		<b>卒業時期</b>		<b>単位換算制度</b>
留学先を自由に選ぶことができる	認定留学奨学金 <b>最大 43.5 万円</b> に申請可能	留学期間を <b>在学期間</b> として取り扱うため、卒業を延期することなく、4年間での卒業も可能	留学先で修得した単位を本学の単位に <b>換算可能</b> 1年間留学:最大 30 単位 半年間留学:最大 16 単位				

次のページへ続く

## VII. 授業料の免除・奨学金

### 【授業料の免除】

授業料	内容	選考方法・支給対象者
派遣先大学授業料	免除	海外派遣留学生全員

※ 本学の学費は納入する。

### 【申請可能な奨学金】 ※全て給付（返済は不要）

奨学金	支給内容	選考方法・支給対象者
① 全額支給奨学金	寮費、食費の免除	ベイラー大学への派遣留学生で海外派遣留学生選考試験結果の上位者1名に支給
② 海外派遣留学生奨学金	派遣地域により次の金額を支給 ( <a href="#">【支援区分/国・地域】一覧</a> 参照) (1)指定都市 500,000 円 (2)甲 地 区 400,000 円 (3)乙 地 区 350,000 円 (4)丙 地 区 300,000 円 ※ 留学期間が半年間の場合、支給額は半額	海外派遣留学生の在学成績等を審査のうえ、国際センター委員会で支給者を決定します(50名)。
③ メアリー・エレン・ドージャー奨学金	30万円程度	在学成績を審査のうえ決定 (支給人数は年度により異なる。)
④ 独立行政法人日本学生支援機構 海外留学支援制度(協定派遣)	月額 8~12万円 (派遣地域により異なる)	日本学生支援機構の募集に対し、本学の交換留学プログラムが採択された場合に支給。支給者は、家庭の経済状況および在学成績に基づき決定

(成績要件) 在学期間すべての GPA (通算 GPA) が 2.2 以上であること。

(奨学金の申請受付～決定) 学内選考の合格発表後に受け付け、国際センター委員会で審査のうえ決定。

(奨学金の支給時期) 出発直前または出発後になる場合があります。

※ 「語学教育機関」への英語派遣留学生は、①～③の奨学金に申請することはできません。また、④の奨学金は、「学部・大学院課程」への英語派遣留学生および英語派遣以外の派遣留学生を優先して採用します。

※ 上記奨学金は、併給することはできません。また、上記の奨学金とは別に、留学期間中に留学支援を目的とする月額 5 万円以上の奨学金（給付）を受ける場合は、いずれの奨学金も受給することはできません。

※ 「高等教育の修学支援制度」の給付奨学金との併給はできません。授業料減免は併給することができます。

次のページへ続く

## VIII. 留学にかかる費用

派遣留学をする場合、派遣先大学の授業料は免除されますが、ビザ取得費用や現地での生活費などは必要です。留学準備から帰国までには主に次の費用がかかりますので、事前に準備をしておいてください。

渡航費用	留学準備費用	生活費用
旅券取得にかかる費用	財政証明にかかる費用	住居費(学内寮、学外アパート等)
ビザ申請にかかる費用	海外旅行保険(本学指定・加入必須)	食費(自炊、ミールカード)
往復航空運賃	予防接種・健康診断受診料	その他個人費用

※ 留学中に必要な生活費用は、留学先の国や地域によって異なります。派遣留学から帰国した海外派遣留学生からの留学報告書に、実際にかかった費用に関する情報を掲載していますので、以下で確認してください。

SAINS ポータル「事務局のページ」>「[国際センター](#)」>「留学報告書」

※ 留学資金を所持していることを証明するために、派遣先大学への出願書類として、また、ビザの申請書類として金融機関の残高証明書が必要となることがあります。残高証明額は派遣国・地域や派遣先大学によって異なりますが、目安として滞在月×10万円程度です。ただし、アメリカの派遣先大学によっては、1年間留学の場合で250万円程度の残高証明書が求められる大学もあります。

※ 派遣先大学によっては、施設費や出願料等の諸経費が発生する場合があります。

## IX. 学部・研究科間協定による派遣留学

一部の学部・研究科には、学部・研究科独自の海外派遣留学生制度があります。この制度を利用すると、「大学間協定による海外派遣留学生」同様、本学における履修や単位換算等の教務上の配慮がある他、留学期間も在学期間として取り扱われるため、2、3年次に留学をすれば4年間で卒業することも可能です（ただし、単位修得状況により、4年間で卒業できない場合もあります。）また、「大学間協定による海外派遣留学」と併願することもできます。

### 【応募資格】

当該学部・研究科の学生で、それぞれの応募要件を満たすこと。

### 【申請期間・学内選考方法・合格発表】

「大学間協定による海外派遣留学」に準ずる。ただし、選考方法は所属学部・研究科によって異なります。

### 【授業料の免除・奨学金】

「大学間協定による海外派遣留学」に準ずる。(P.7 参照)

### 【学部・研究科間協定による派遣留学プログラム】

#### 英語派遣

学部／研究科	国・地域	協定校名
商学部	台湾	国立東華大学管理学部
		長庚大学管理学院
		中山大学 管理学部
	オランダ	アムステルダム応用科学大学 商学部
	韓国	東国大学 社会科学部

学部／研究科	国・地域	協定校名
法学部／法学研究科	オランダ	アムステルダム応用科学大学 法学部
	イタリア	トリノ大学 法学部
	フランス	エクス＝マルセイユ大学 大学院法学研究科
国際文化学部／国際文化研究科	タイ	チュラーロンコーン大学 文学部国際プログラム

※派遣先大学の情報は、[国際センターの学内HP](#)で確認できます。

■ 派遣先大学詳細情報（大学の概要、学部・学科情報、履修・シラバス、学年暦、寮など）

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>[「留学情報」](#)>「留学報告書」

■ 派遣枠および応募要件

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>[「海外派遣留学」](#)  
>「応募要件の見方」・「応募要件一覧」  
(A 日程：7 月中旬、B 日程：11 月末までに順次掲載予定)。

## X. 派遣留学決定後について

---

派遣留学生が海外での学習や生活に順応できるように、合格発表後、事前課題への取り組みおよびオリエンテーション等への出席を義務付けています。アルバイト、クラブ活動および個人的な事情で欠席することはできません。

■ 英語派遣留学準備講座（英語派遣(学部・研究科間協定派遣も含む)）

※有料（受講料 7,000 円程度）・単位付与なし

※派遣留学応募時のスコアが TOEFL-ITP 530 点、TOEFL-iBT 71 点、IELTS 6.0、英検準一級以上に満たない学生が対象

■ フランス語特別研究（フランス語派遣）

■ 異文化適応講座

■ 語学力試験の受験（出発前・帰国後、すべての派遣言語共通）

■ オンライン講座（MOOC）の受講

■ 出発前オリエンテーション

<A 日程>

第1回オリエンテーション：2025年10月29日（水）

※再応募を検討している場合、必ず第1回オリエンテーションに参加してください。

第2回オリエンテーション：2026年1月7日（水）（予定）

<B 日程>

第1回オリエンテーション：2026年2月10日（火）（予定）

第2回オリエンテーション：2026年2月13日（金）（予定）

※A 日程・B 日程ともに、上記以降のオリエンテーション日程は第1回オリエンテーションで案内します。

## XI. 留学期間

留学期間は派遣先大学によって異なりますので、必ず事前に確認して応募してください。

### 【1年間留学の場合】

選考日程	出発	帰国
A日程	2026年2月～6月	2026年12月～2027年4月
B日程	2026年8月～10月	2027年4月～7月

### 【半年間留学の場合】

選考日程		出発	帰国
A日程	前期	2026年2月～4月	2026年6月～8月
	後期	2026年8月～9月	2026年12月～2027年2月
B日程		2026年8月～11月	2026年12月～2027年4月

## XII. 履修

### 1. 本学での履修について

留学時期によって、出発前と帰国後の履修条件が異なりますので、応募する前に必ず自身の履修と単位修得状況を確認してください。原則として留学期間と重複する学期の開講科目は履修することができません。

ただし、帰国年度においては、6月末までに帰国し、履修登録した場合、通年科目も履修することができます。

なお、集中講義（前期を除く）は通年科目として取り扱うため、出発時期によっては履修が取り消されることがあります。履修に関して不明な点は、必ず教務課に事前に相談してください。

### 2. 派遣留学先での履修について

原則として、本学での専攻分野に関連する科目（本学学則別表第一に定める授業科目に該当する科目）を履修するように努めなければいけません。派遣先大学での履修制限・条件等は、大学によって異なりますので、以下の一覧で必ず確認してください。

SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>「海外派遣留学」>「応募要件一覧」

履修科目を自由に選択することができる大学もあれば、本学での所属学部に応じて、派遣先大学での所属学部が決定する大学もあります。また、本学での専攻分野に関連しない授業の履修を希望する場合、履修が制限されることもありますので、留意してください。

### 3. 単位換算について

派遣先大学で履修・単位修得した科目の内容や時間数等に応じて、本学の科目に単位を換算します。帰国後、派遣先大学の成績証明書や単位換算申請書（帰国オリエンテーションで配付）等の必要書類を揃えて、所属の学部・学科に申請します。

- ・教職課程等一部を除きます。
- ・単位換算申請後、学科で審査が行われますので、申請した科目が全て単位換算されるわけではありません。特に語学系の科目や専攻以外の内容の科目を申請する場合、単位換算が制限される場合があります。

- ・学部生が1年間留学する場合は、30単位まで、半年間留学する場合は、16単位まで単位換算することができます。ただし、過去の留学単位換算、1年次入学前成績単位換算、語学研修単位換算、国内の大学との留学単位換算、他大学単位互換及び外部試験による単位認定によって修得した単位と合わせて60単位を超える分の単位換算の申請はできません。
- ・派遣先大学で授業時間の半数以上遠隔（オンライン）で実施された授業については、原則として本学の科目には単位換算できません。
- ・大学院生は、留学期間に随時10単位まで単位換算することができます。ただし、修了要件単位に換算されるのは8単位までとなります。
- ・過年度の派遣留学生の単位換算履歴については、以下に掲載していますので、参考にしてください。  
SAINS ポータル「事務局のページ」>「国際センター」>「留学情報」>「単位換算について」
- ・留学前に単位換算を確約することはできませんが、留学前に履修予定科目の単位換算の可能性について、教務課学部学科窓口に相談しておくと良いでしょう。

#### ● 4年次で留学する場合の注意 ●

4年次で留学し、卒業判定時（4年次3月頃）に留学中（留学終了手続きが完了していない状況）の場合は、卒業要件上の単位要件および修業年限要件が満たされたとしても、4年次で卒業することはできません。

#### ● 5年次以上で留学する場合の注意 ●

留学における卒業判定（前期9月頃・後期3月頃）において、卒業要件を満たした場合は、派遣留学生の資格を失いますので十分に留意してください（※）。なお、留学中（留学終了手続きが完了していない状況）に卒業要件上の単位要件および修業年限要件が満たされたとしても、卒業することはできません。

※ ただし、前期の卒業判定（前期9月頃）において、卒業要件を満たしたもの、卒業延期願の提出を経た学生については、後期2月中旬までに留学終了手続きが完了する場合に限り、派遣留学生の資格を失いません。

#### ● 帰国後単位換算のうえ、帰国年度での卒業を希望する場合の注意 ●

帰国年度の学期で卒業を希望する場合、以下の期日までに単位換算申請を行う必要があります。期日を過ぎると卒業ができなくなる可能性がありますので、十分に留意してください。（※単位換算に必要な書類のうち、派遣留学先大学の成績証明書は、発行が遅くなる可能性もあります。派遣先大学の学年暦から授業期間や試験期間を確認のうえ、派遣留学が決定したら、必ず留学中に留学先の担当者に発行可能な時期を確認しておいてください）

◆前期卒業の希望者：6月末まで

◆後期卒業の希望者：1月末まで

期日までに単位換算申請が間に合わない可能性がある場合、必ず早めに教務課へご相談ください。

## XIII. 留意事項

---

### 1. 派遣留学の実施（中止）の判断および経費の負担について

本学では、プログラムの実施（中止）判断にあたり、外務省の海外安全情報に基づき、判断基準（ガイドライン）を策定しています。プログラムの中止等に伴う経費は、原則として参加者の自己負担となりますので、事前に確認のうえ、申し込んでください。

- 外務省 海外安全情報 <https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>
- 本学の判断基準(ガイドライン) <https://w3.seinan-gu.ac.jp/intleduc/document/guideline.pdf>

### 2. 自己管理について

派遣留学に応募するにあたっては、心身ともに留学に耐えうる健康状態であること、また、現地での健康管理は自己責任で行う必要があることを十分に確認してください。現在、持病やアレルギーがあり、医療機関を受診中または服薬中の場合は、主治医等と相談して、自己管理ができるることを確認したうえで応募してください。

#### 留学にあたっての自己管理の例

- 予防接種、健康診断の受診
- 主治医の診断、英文診断書の発行
- 留学先国・地域および派遣留学先の医療支援体制に関する情報収集
- 服薬している薬剤の処方、持ち込みに関する手続き
- 留学先での医療機関の受診
- 持病やアレルギー等を補償する海外旅行保険への加入

(参考)

- 厚生労働省 海外で健康に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>
- 厚生労働省 海外渡航先への医薬品の携帯による持ち込み・持ち出しの手続きについて [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index\\_00005.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/index_00005.html)
- 外務省 医療・健康関連情報 [https://www.anzen.mofa.go.jp/kaian\\_search/index.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html)

### 3. 海外派遣留学生としての責任について

海外派遣留学生は、自立して主体的に行動することが求められます。海外派遣留学生は、留学先大学の授業料免除や給付奨学金制度等の経済的援助を受けられる他、教務上・学籍上も不利にならないよう取り扱われます。しかし、留学に必要な手続きを国際センターがすべて代行するものではありません。派遣留学に応募する際には、次の事項をよく理解してください。

- 派遣留学決定後は、留学準備（入学願書の作成や入寮申請などの手続き、派遣先大学との連絡や渡航手続き等）を主体的に行ってください
- 自らの責任で健康管理をしてください。（上記参照）
- ケガや病気、その他トラブル発生時に、自らで派遣先大学や海外旅行保険会社（本学指定）と連携して、適切に対処のうえ、本学国際センターにも報告してください。

#### 4. 派遣留学の取消等について

次に掲げる事項に該当し、国際センターが海外派遣留学生として不適当と判断した場合は、渡航直前や渡航後であっても、派遣留学生としての資格を取り消し、派遣の中止または途中帰国を命じます。なお、この場合において発生するキャンセル料やすでに支払った諸費用（航空券、寮費、ビザ手続き手数料等）はすべて学生の負担となります。

- 留学前および留学中の学業成績が著しく不振である場合
- 留学に関わる各種手続きを適切に行わない場合
- オリエンテーションや各種講座等を無断で欠席した場合
- 語学力の向上を怠っていると判断される場合
- その他、国際センターが海外派遣留学生として不適当と判断した場合

### XIV. 語学力換算表および外国語科目的認定

---

#### ■ 英語

点数	TOEFL-ITP	TOEFL-iBT	IELTS(Academic)	英検
100	600 以上	100 以上	7.0 以上	I 級
99	597	99		
98		98		
97	590-593	97		
96		96		
95	587	95		
94		94		
93	580-583	93	6.5	
92		92		
91	577	91		
90		90		
89	570-573	89		
88		88		
87	567	87		
86		86		
85	563	85		
84		84		
83	557-560	83		
82	553	82		
81		81		
80	550	80		準 I 級
79		79		
78	547	78	6.0	
77		77		
76	540-543	76		
75	537	75		

点数	TOEFL-ITP	TOEFL-iBT	IELTS(Academic)	英検
74		74		
73	533	73		
72		72		
71	527-530	71		
70	523	70		
69		69		
68	520	68		
67	517	67		
66		66		
65	513	65		
64	507-510	64		
63	503	63		
62		62		
61	500	61		
60	497	60	5.5	
59		59		
58	493	58		
57	487-490	57		
56	483	56		
55		55		
54	480	54	5.0	
53	477	53		
52	473	52		
51	467-470	51		
50	463	50	4.5	
49		49		
48	460	48		
47	457	47		
46	453	46		
45	450	45	4.0	

※ TOEIC で出願できる派遣先大学もありますが、選考には上記に記載の英語力試験のいずれかを用います。  
TOEIC の点数で語学力の証明を行う場合は、併せて上記に記載のいずれかの英語力試験のスコアを提出してください。

■ フランス語

点数	実用フランス語 技能検定	DELF・ DALF	外国語科目による認定	
			(外国語学部以外)	(外国語学部)
100	I 級	B2 以上		
90	準 I 級			
85		B1		
80	2 級			
75		A2		
70	準 2 級		認定 DELF・DALF B1 (③)	
65		A1		
60	3 級		認定 DELF・DALF A2 (②)	認定 DELF・DALF A2 (⑤)
50	4 級		認定 DELF・DALF A2 (①)	認定 DELF・DALF A2 (④)

■ イタリア語

点数	実用イタリア語検定試験	CILS	外国語科目による認定
100	I 級	B2 以上	
90	2 級		
85		B1	
80	準 2 級		
75		A2	
70	3 級		認定 CILS B1 (③)
65		A1	
60	4 級		認定 CILS A2 (②)
50			認定 CILS A2 (①)

■ ドイツ語

点数	ドイツ語技能検定試験	外国語科目による認定
100	I 級	
90	準 I 級	
85		
80	2 級	
75		
70	3 級	認定 ドイツ語技能検定試験 2 級(③)
65		
60	4 級	認定 ドイツ語技能検定試験 3 級(②)
50		認定 ドイツ語技能検定試験 3 級(①)

■ スペイン語

点数	スペイン語技能検定	DELE	外国語科目による認定
100	1 級	B2 以上	
90	2 級		
85		B1	
80	3 級		
75	4 級	A2	
70			
65		A1	
60			認定 DELE A2(②)
50			認定 DELE A2(①)

■ 中国語

点数	中国語検定試験	HSK 漢語水平考試	外国語科目による認定
100	2 級以上	5 級以上	
90	3 級	4 級	
80	4 級	3 級	
70	準 4 級	2 級	認定 HSK 漢語水平考試 3 級(③)
65		1 級	
60			認定 HSK 漢語水平考試 2 級(②)
50			認定 HSK 漢語水平考試 2 級(①)

■ 韓国語

点数	韓国語能力試験 (TOPIK)	「ハングル」 能力検定試験	外国語科目による認定
100	5 級以上	2 級以上	
90		準 2 級	
85	4 級		
75	3 級	3 級	
70			認定 韓国語能力試験 TOPIK 4 級(③)
60	2 級	4 級	認定 韓国語能力試験 TOPIK 3 級(②)
50			認定 韓国語能力試験 TOPIK 3 級(①)

«問い合わせ先»

西南学院大学 国際センター（3号館1階）

開室時間：平日 8:45～17:20（夏季休暇中：～16:50）

TEL: 092-823-3346 E-mail: [outbound@seinan-gu.ac.jp](mailto:outbound@seinan-gu.ac.jp)